

IATSS三十周年によせて

## IATSSによせる想い

今泉正隆 (財)警察協会会長



1948年東京大学法学部卒業、直ちに警察に入る。73年警視庁刑事部長、74年防衛庁人事教育局長、80年警視總監、82年退官。現在は(財)警察協会会長。

IATSS設立三十周年、おめでとうございます。

論語に「三十にして立つ」とあります。30歳でしっかりと自分の立場を築き、自立するという意味ですが、IATSSは30歳にして、今や自立の域を越え、国内外の交通安全学会で押しも押されもせぬ地位を築いていると思います。と同時に、警察同期生の今は亡き西川清次君が専務理事として精勤していた草創の頃を思い起こし、時の流れを感じざるを得ません。

私は最初の職場であった警察の後も、自動車安全運転センター理事長(8年)、新交通管理システム協会会長(1年半)、全日本交通安全協会理事長(6年)と、交通関係の職を歴任してまいりました。そんなご縁から、IATSSでは評議員に選ばれ、これらの職を去った今も、私の希望を容れてくださって、顧問にさせていただいております。引き続き道路交通の勉強ができますことを大変ありがたく存じております。

さて交通の難所とも思えない地点で重大事故がよく発生するのを見聞きするにつけ、やはり今後の交通安全対策も、運転者のマインドとスキルが最重点であろうと考えます。

今回の三十周年記念は、もちろん「すでに30年」を記念するものではありませんが、30年は、見ようによっては「ようやく30年」であり、あるいは「未だ30年」でもあります。IATSSが次の30年に向けて、ますます発展されるよう念じ上げます。